

# 議会報告会報告書

開催日時	平成25年4月26日（金） 午後7時～8時30分	
開催場所	西コミュニティセンター	
出席議員	代表者	板橋 衛
	司会者	伊東雅之
	報告者	鈴木真智子、はまのまさひろ、長谷川 昇、伊関功滋
	記録者	高橋敏明、西郷宗範
参加人数	9 名	
報告内容	<p>[報告内容の質疑応答]</p> <p>Q. 横須賀市の人口が減少を続けていく中で、それをどうすればいいのかという切り口で議論をされているかどうか？</p> <p>A. 議会としても定住人口をいかに拡大していくことが今の市政の最大の課題であるという認識をしている。市は5年間かけてファーストマイホーム制度を実施してきたが、その分析もされないまま、今回新しい事業提案をしてきた。これについてはまだ時期尚早として減額修正とした。今後についても行政としっかり議論を重ねていく中で、定住促進、人口減少の歯止めについても対応をしていく。</p> <p>Q. 美術館特別展が条例違反の疑いがあるということの意味は？</p> <p>A. 美術館は博物館法に基づく美術館条例により運営されているが、今回、教育委員会の所管である美術館の一部を経済部が借りて、その中で企画展を行うことの提案があった。この法的根拠についての質疑に対して執行部からは明快な回答がなかった。また、この件は、顧問弁護士の法的な解釈が出た後、審査することになっている。</p> <p>Q. 新ごみ処理施設の日量の処理能力を縮小した理由と建設費用は？</p> <p>A. 縮小した理由は、人口減少や企業の撤退により、ごみ全体の量が減少しているため。建設費用は、焼却施設の建設費用が約190億円、不燃ごみ等選別施設が約26億円、敷地造成等約13億円、合計229億円。その他維持管理費6.4億円、売電収入を約1.8億円見込んでいる。</p> <p>Q. 横須賀市への観光客を増やすための交通インフラの検討はされているのか？</p> <p>A. 7.8年前に西地区にモノレールの建設の検討がされたが、費用対効果の面で難しいという結論になっている。他には、三浦半島中央道の整備や三浦縦貫道の延伸などが予定されている。</p> <p>[意見交換]</p> <p>Q. 空き家に県立保健福祉大学以外の学生は使用できないのか？</p> <p>A. 委員会では、県立保健福祉大学に貸す家を増やすべきだという議論や、この大学以外の近隣大学を通じて貸してはどうかという意見があり、執行部としても検討課題となっている。</p> <p>意見：人口減の対策をまじめに考えないと横須賀は駄目になってしまう気がする。高台に住む高齢者の空き家対策についても一考する余地があるのでは。</p> <p>要望：新ごみ処理施設の対策協議会で出された意見についても議会は尊重してもらいたい。</p>	

横須賀市議会議長 様

平成25年 5月10日

上記のとおり報告します。

代表者 板橋 衛